令和５年度　立川市立第十小学校

全国学力・学習状況調査（小学校）　分析と今後の対応

６年生

【国語科】

全国の平均以上△　平均以下▼

平均正答率（%）			第十小学校 61	東京都 69	全国 67.2
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	▼62.2	73.6	71.2
		情報の扱いに関する事項	▼57.5	66.5	63.4
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	▼59.8	73.5	72.6
		書くこと	△30.1	28.9	26.7
		読むこと	▼72.1	73.2	71.2
問題形式		選択式	▼67.9	75.9	73.6
		短答式	▼58.2	66.4	62.7
		記述式	▼41.6	51.4	51.1

【国語科】

【全体】
〇平均正答率において、東京都・全国に比べ１０％近く下回っている。

【項目別分析】
〇「言葉の特徴や使い方に関する事項」の項目では、「いがい」「きかん」「くらべて」の漢字の記述において、「いがい」の正答率が 49.3%（東京：56.7%、全国：52.8%）と５０％を切っている。同音異義の漢字の理解が原因と考えられる。「くらべて」は、84.9%（東京：93.0%、全国：93.1％）と正答率が高く、熟語や言葉の正確な理解、語彙力に課題があると考えられる。また「敬語の使い方をまとめたノートの空欄をうめる」問題でも、35.6%（東京：60.2%、全国：57.6%）と正答率が低く、主旨を理解したり、要約したりする力に課題が見られる。

〇「情報の扱いに関する事項」の項目では、「資料から因果関係を読み散る」問題において、54.8%（東京：68.2%、全国：64.7%）と低く、内容の理解と関連付けて考える力に課題が見られる。

〇「話すこと・聞くこと」の項目では、「インタビュー資料から読み取り、分かったことをまとめる」問題において正答率が 43.8%（東京：68.6%、全国：70.2%）という数値であった。内容理解や要約する力に課題が見られる。

〇「書くこと」の項目では、「米作りの問題点を図表やグラフから読み取り、自分の考えを書く」問題では、30.1%（東京：28.9%、全国：26.7%）の正答率で東京・全国の平均を上回った。普段の学校生活において、自分の考えを表現する場が多く設定されていることが要因として考えられる。

〇「読むこと」の項目では、東京・全国の平均と大きな正答率の差は見られなかった。

【算数科】

全国の平均以上△　平均以下▼

平均正答率（%）			第十小学校 63	東京都 67	全国 62.5
学習指導要領の内容	数と計算		▼66.9	71.0	67.3
	図形		△49.7	54.8	48.2
	測定				
	変化と関係		△72.3	75.8	70.9
	データの活用		▼62.6	67.3	65.5
問題形式		選択式	△61.4	63.2	57.7
		短答式	△74.8	78.0	74.7
		記述式	▼43.8	52.4	47.3

【算数科】

【全体】

〇平均正答率において、東京都より低く、全国より高い結果になっている。

【項目別分析】

〇「数と計算」の項目では、「50×40」の計算問題において 87.7%（東京：82.5%、全国：80.8%）と平均を上回っている。計算の基礎が身に付いている児童が多くいると考えられる。ただ、「日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断をする」問題では、52.1%（東京：62.4%、全国：56.7%）と正答率が低く、計算の応用や問題の理解に課題が見られる。

〇「図形」の項目では、「台形の意味や性質を捉える」問題で、68.5%（東京：65.0%、全国：59.8%）と平均を上回っている。「高さが等しい三角形の面積の関係」の問題では、15.1%（東京：29.5%、全国：20.8%）と正答率が低く、図形の特徴と、他の情報を結び付けて考える力に課題が見られる。

〇「変化と関係」の項目では、「百分率の理解」の問題で、57.5%（東京：56.2%、全国：46.0%）と平均を上回っている。しかし、「伴って変わる量が比例関係であることを説明する」問題では、54.8%（東京：61.7%、全国：55.5%）と平均を下回っている。概念の理解や計算は身に付いているので、言葉で説明することに課題が見られる。

〇「データの活用」の項目では、「以上の意味を理解する」問題で、71.2%（東京：78.6%、全国：75.7%）と平均を下回っている。言葉の意味を丁寧に理解することに課題が見られる。

【今後の対応】

【国語科】

【課題点】分析結果より
〇漢字の定着
〇言語理解
〇要約
〇内容の関連付け
〇言語表現

【今後の対応】
〇言語理解を深め、語彙力を高めるために、辞書の活用、読書活動等の指導。
〇要約・言語表現力を高めるために、文章からキーワードを抜き出す、「つまり」などの言葉で自分の考えを端的に表す、振り返り活動の指導。

【算数科】

【課題点】分析結果より
〇基礎・基本の定着
〇応用問題の積み重ね
〇情報の結び付け
〇言葉での説明
〇概念・言葉の理解

【今後の対応】
〇単元ごとの積み重ねを意識した基礎・基本の問題の取組。
〇応用問題を含めた様々なパターンでの既習事項を生かす問題への取組。
〇文章題における課題理解。
〇言葉や公式などの正確な理解。
〇既習事項の繰り返しの活用。
〇実態に応じた少人数指導の充実。